

## 県民衛星プロジェクト支援事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	産業労働部	課名	産業技術課	課長名	大塚 智樹	
事業主体	県、福井県民衛星技術研究組合				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H27 年度 経過年数 8 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	直営											
補助率	—											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [ II 成長を創る (産業力) ] 政策 [ 7 Societh5.0時代の新産業創出 ]				関連する県の計画等		[ 福井経済新戦略 ]					
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県内企業への超小型人工衛星製造技術の習得</li> <li>・ 衛星データ利活用ソフトウェアの開発による新たなビジネスモデルの創出</li> </ul>						<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 人工衛星製造技術を有する県内企業は存在しない (0社、H27)</li> <li>・ 衛星データを活用し、ビジネスを展開する県内企業は存在しない (0社、H27)</li> </ul>						
[事業目的]												
<p>福井県民衛星技術研究組合が県内企業への衛星製造技術の習得を目的に行う県民衛星「すいせん」の製造を支援するとともに、衛星データを活用するソフトウェア「衛星画像利用システム」をモデルユーザーとして福井県行政で利用し、結果をフィードバックすることによりソフトウェアの商品価値の向上につなげる。</p>												
[事業内容]												
<p>(1) 技術研究組合運営費賦課金 (60千円) 県民衛星技術研究組合の運営費</p> <p>(2) 衛星画像利用システムの活用 (29,700千円) 県民衛星から得られるデータを活用する「衛星画像利用システム」の利用料</p> <p>(3) 県民衛星プロジェクトPR (173千円) 「衛星画像利用システム」の県民向けPR</p>												
[受益者] 県内企業等						[想定される受益者数] 85企業・団体						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)				関連事業の有無・ 役割分担		<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 宇宙産業ビジネス化支援事業 (役割分担) ・ 本事業では、福井県民衛星技術研究組合の活動に関する経費を計上 ・ 宇宙産業ビジネス化支援事業では、衛星運用技術の習得や宇宙産業への参入、人材育成にかかる費用を計上					
市町との連携状況					他県の状況							

## 県民衛星プロジェクト支援事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	産業労働部	課名	産業技術課	課長名	大塚 智樹	
事業主体	県、福井県民衛星技術研究組合				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H27 年度 経過年数 8 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	直営											
補助率	—											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	29,933	14,966			14,967	地方創生推進交付金						
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位：千円)</span>												
区 分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	令和4年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移		72,636	185,464	69,455	35,405	29,933	県民衛星開発・打上げ支援補助金の終了					
2月現計予算額の推移		22,236	185,464	57,185	35,405							
決算額の推移		22,200	185,437	56,526								
前年度までの 主な増減理由	県民衛星製造費用（県補助金） ・平成28年度 県民衛星仕様書作成 20,000千円 ・平成30年度 打上げ費用（前払金）21,600千円 ・令和元年度 衛星製造、試験、衛星運搬費用、打上げ費用（前払金）184,839千円 ・令和2年度 打上げ、初期運用費用 44,396千円 ・令和3年度 初期運用費用 6,516千円											
[成果指標等の推移]												
区 分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	他自治体への衛星画像利用システムの販売数 (目標) 実績			(0) 0	(0) 0	(5)	(15)	(20)	・R1：0件⇒R7：20件 (R3から全国自治体・民間への営業を開始、R4からの導入)  ・R7までに50自治体に営業			
活動指標	自治体への営業回数（試験利用含む） (目標) 実績				(12) 22	(10)	(40)	(50)				
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和4年度の変更点				事業評価				
・2021年3月22日 県民衛星「すいせん」打上げ成功				・R4以降、県外の自治体・民間企業への営業を強化				<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	5,472	
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

## デザインコネクト事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	産業労働部	課名	産業技術課	課長名	大塚 智樹	
事業主体	デザインセンターふくい				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	□ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業開始年度	R2 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度
事業実施方法	補助								経過年数	3 年		
補助率	定額											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [ II 成長を創る(産業力) ] 政策 [ 6 地域経済のイノベーション ]				関連する県の計画等		[ 福井経済新戦略 ]					
[解決すべき問題・課題]  経営、製品にデザインを導入する重要性の啓発						[問題・課題を表す客観的データ]  日本では経営者がデザインを有効な経営手段と認識しておらず、グローバル競争環境での弱みとなっているため、経営にデザインを導入する重要性を認識する機会を創出(市場開拓を成し遂げた成功要因としてデザインを挙げた企業は0.8%)						
[事業目的] 北陸新幹線福井・敦賀開業に向け、より成長が期待される製造業・農林水産業等の分野へのデザイン導入時の課題を解決し、「目立つ」商品・サービスの実現を図る。												
[事業内容] (1) デザインコネクトセミナー < 1,492千円 > 分野毎に異なるニーズに応じたセミナーを開催。 ・テーマ毎の講師によるデザイン開発ノウハウの伝授 ・カウンセラーによるセミナー解説やセミナー後のグループワーキングを行い、デザインセンター事業の活用を促進 実施回数：4回(地域ニーズに応じて開催)、定員：50名程 テーマ例：選ばれるパッケージデザイン、売れるための仕組みをデザインする 等  (2) 展示販売会 < 1,408千円 > デザインセンター事業を活用し、デザインを導入した新商品等の展示販売会を実施。 エンドユーザーから生の声を収集することでより魅力的な開発につなげる。 実施回数：1回、場所：ものづくりキャンパス多目的ホール												
[受益者] 県民全体						[想定される受益者数] 約78万人						
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)				関連事業の有無・ 役割分担		■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況					他県の状況							

## デザインコネクト事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	産業労働部	課名	産業技術課	課長名	大塚 智樹	
事業主体	デザインセンターふくい				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	□ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R2 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度
事業実施方法	補助											
補助率	定額											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等					
予算額	2,900	1,450				1,450	地方創生推進交付金					
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位：千円)</span>												
区 分	平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	令和4年度予算額の増減理由						
当初予算額の推移			2,900	2,900	2,900							
2月現計予算額の推移			2,719	2,900								
決算額の推移			2,717									
前年度までの 主な増減理由												
[成果指標等の推移]												
区 分	平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	セミナーを通じて生まれ た新商品、サービス等	(目標) 実績			(1) 1	(1) 2	(2)	(2)	(2)	3年度：当年度までのセミナーを通じて2件 4年度：当年度までのセミナーを通じて4件		
活動指標	テーマ毎の講師によるデ ザインセミナー	(目標) 実績			(4) 4	(4) 4	(4)	(4)	(4)	実施回数上限：4回/年		
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価			実績を踏まえた令和4年度の変更点				事業評価					
セミナーによる掘り起こしで2件の新商品・サービス等の相談があり、デザインセンター事業を活用して実現を目指す。			今まではオンラインでセミナーを開催していたが、リアルで開催し、その場でのデザイン相談等を受け、新商品開発の支援をより行う。				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額		
							<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了			
							<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他			

## 眼鏡産業国内外販路拡大支援事業

区分	拡充	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	産業労働部	課名	産業技術課	課長名	大塚 智樹	
事業主体	(一社) 福井県眼鏡協会				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	□ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R4 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	補助											
補助率	1/3, 1/2											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [ II 成長を創る(産業力) ] 政策 [ 6 地域経済のイノベーション ]				関連する県の計画等		[ 福井経済新戦略、福井県長期ビジョン ]					
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]						
<p>本県の眼鏡産業は、国内市場では大手小売チェーン店による海外製フレーム・レンズ込みの均一低価格品との差別化、海外市場では、高価格帯のイタリア、低価格帯の中国との産地間競争に直面している。</p>						<p>・眼鏡国内市場における国内産シェア推定約20%台                  ・鯖江が眼鏡枠生産国内シェア9割の認知度約50%、鯖江産眼鏡購入経験約10%                  ・眼鏡枠等輸出額 福井県約190億円、イタリア約4,500億円、中国約3,000億円                  (データ元：工業統計調査、貿易統計、R3年度FOIP会議資料、福井県の貿易、ANFAO、Global Trade Atlas)</p>						
[事業目的]												
<p>福井県眼鏡協会がI O F Tや海外展示会に出展し、「福井ゾーン」を設ける等、産地が一丸となりPRや新製品発表、新規販路開拓を推し進める。特に、単独出展が難しい中小企業のため、当協会が共同ブースを設け出展を支援する。また、国内外の国際眼鏡展出展以外の販路拡大、情報発信等強化のためコーディネーターを設置する。</p>												
[事業内容]												
<p>(1) 東京国際眼鏡展出展支援事業(標準外経費)                  福井県眼鏡協会がI O F Tに主催者として参画し、会場内に「福井ゾーン」を設けるなど、産地が一丸となり産地福井のPRや新製品発表、新規販路開拓を推し進める。特に、単独出展が難しい中小企業のため、当協会が共同ブースを設け出展を支援する。</p> <p>(2) 海外国際眼鏡展出展支援事業(標準外経費)                  県では、拡大する海外市場への販路開拓のため、国際展示会への共同出展を補助している。近年は、新型コロナウイルスの影響で国際展示会の延期・中止・オンライン化が増加している中、リアル・オンライン・ハイブリット型に対する積極的な出展を支援する。</p> <p>③ コーディネーター設置支援事業(政策的経費)                  国内外の国際眼鏡展出展以外の販路拡大、情報発信等強化のためのコーディネーターの設置(例、産地商談会、小売店との関係強化、ポップアップストア等の検討)</p>												
<p>事業実施期間 令和4年度～令和6年度                  補助率・補助金額 (1) 4,000千円(1/3) (2) 3,000千円(1/2) (3) 1,000千円(1/2)                  予算要求額 8,000千円(一般) [補助金]</p>												
[受益者] 協会員						[想定される受益者数] 約200社						
□ 無 ■ 有 事業名 東京国際眼鏡展出展事業、海外眼鏡販路獲得フォローアップ事業 (実績) 東京国際眼鏡展出展事業(H9～R3) 海外眼鏡市場開拓推進事業(S57～H25) 海外眼鏡販路獲得フォローアップ事業(H26～R3) ポップアップストア事業(R2～R3)						■ 無 □ 有 事業名 (役割分担) —						
前事業の有無・実績						関連事業の有無・役割分担						
市町との連携状況						他県の状況						
・鯖江市から福井県眼鏡協会に対する交付金						—						

## 眼鏡産業国内外販路拡大支援事業

区分	拡充	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	産業労働部	課名	産業技術課	課長名	大塚 智樹	
事業主体	(一社) 福井県眼鏡協会				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	□ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R4 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	補助											
補助率	1/3, 1/2											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	8,000				8,000							
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位：千円)</span>												
区 分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	令和4年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移		8,500	8,500	8,000	8,000	8,000	—					
2月現計予算額の推移		8,500	8,500	4,140	4,579							
決算額の推移		8,500	8,500	4,139								
前年度までの 主な増減理由	<p>令和元年度から令和2年度の当初予算減額： ・海外展示会共同出展1,000千円減額、海外営業サポート500千円減額、ポップアップストア設置1,000千円増額</p> <p>令和2年度決算額（当初予算額比）： ・新型コロナウイルスの影響による香港展（オンライン開催）の出展企業数減2,861千円減、現地ポップアップストア開設の見合わせ1,000千円減</p> <p>令和3年度2月現計予算額（当初予算額比）： ・新型コロナウイルスの影響による香港展（ハイブリッド開催）の出展企業数減2,421千円減、現地ポップアップストア開設の見合わせ1,000千円減</p>											
[成果指標等の推移]												
区 分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	成約件数 (東京+海外)	(目標) (4,100)	(4,100)	(4,100)	(4,100)	(4,100)	(4,100)	(4,100)	目標成約件数4,100件 コロナ前の水準を回復する			
		実績 5,200	4,564	1,089	1,279							
活動指標	共同出展企業数 (東京+海外)	(目標) (35)	(35)	(35)	(35)	(35)	(35)	(35)	共同出展企業数35件 コロナ前の水準を回復する			
		実績 46	48	28	34							
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和4年度の変更点				事業評価				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・R3年度東京国際眼鏡展 出展事業 共同出展社数28社、商談件数2,466件、成約件数1,279件、 成約金額3.8億円</li> <li>・R3年度海外眼鏡販路獲得フォローアップ事業 共同出展社数6社、商談件数33件、成約件数0件 ポップアップストア開設中止</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>・東京国際眼鏡展 出展事業および海外国際眼鏡展 出展支援 事業は、国内外における販路拡大のための重要事業のため 継続</li> <li>・ポップアップストア開設は、コロナの影響により実現性 の見通しが不透明なため、コーディネーター設置事業に変更し、 販路拡大・情報発信等の戦略を強化する。</li> </ul>				■ 拡充	□ 縮減	□ 終期の見直し	見直し額	
								□ 継続	□ 休止	□ 完了		
								□ 整理統合	□ 廃止	□ その他		

## 越前ものづくりの里プロジェクト

区分	拡充	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	産業労働部	課名	産業技術課	課長名	大塚 智樹		
事業主体	越前ものづくりの里プロジェクト運営委員会、鯖江市、越前市、越前町、小浜市				事務 区 分	■ 自治事務	事業 区 分	□ 実行予算 ■ 補助金 ■ その他	事業 開始 年度	H26 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R5 年度	
事業実施方法	負担金、補助								事業 区 分	事業 開始 年度			経過年数
補助率	県1/2、市町1/2								事業 区 分	事業 開始 年度			9 年
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [ II 成長を創る(産業力) ] 政策 [ 6 地域経済のイノベーション ]				関連する県の計画等		[ 福井経済新戦略 ]						
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 伝統工芸産業の生産額・従事者の減少</li> <li>・ 丹南5産地が連携した販路開拓や産業観光の推進</li> </ul>						<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 伝統的工芸品7産地 生産額：23,792百万円(H7)→10,730百万円(R2)</li> <li>従事者：2,741人(H7)→1,603人(R2)</li> </ul>							
[事業目的]													
伝統工芸産地（越前漆器、越前和紙、越前打刃物、越前焼、越前筆筒）が丹南地域に集積している本県の特徴を活かし、現場の意見を取り入れた、「攻め」の後継者育成、魅力発信を行うことにより、伝統工芸の新たな価値を高める。													
[事業内容]													
<p>(1) 伝統工芸職人塾 工芸分野に携わりたい若者等が、技能に加え、魅力ある商品づくり、デザインや経営的な視点を学べる「職人塾」を開設</p> <p>(2) 創業支援事業 伝統的工芸品の製造に従事する者が創業する際に必要な経費を一部支援</p> <p>(3) 伝統工芸産地連携事業 丹南5産地が連携して「見たい」「買いたい」「行きたい」の3つの戦略のもと事業を展開 販路開拓や産業観光に対し意欲的な産地組合や現場の職人・クリエイター等を応援し、産地全体の魅力・地域ブランド力を高める</p> <p style="margin-left: 20px;">[見たい] → 工房見学、産業観光イベントパンフの印刷 全国誌、地元広報誌等へのイベント情報掲載応援</p> <p style="margin-left: 20px;">[買いたい] → 海外バイヤー等を対象とした産地ガイドツアー、商談会 クラウドファンディング、留学生、海外企業研修誘致等を活用した海外展開 買いたくなる産地、店づくりを応援(看板、チラシ、照明等環境整備)</p> <p style="margin-left: 20px;">[行きたい] → ワクワクするものづくり体験(福井ものづくりキャンパスでの体験教室) [デザインセンターふくい運営費] 産地での体験をダイレクトに発信(インフルエンサー)</p>													
[受益者] 丹南の5伝統工芸産地						[想定される受益者数] 約1,600人(丹南の伝統工芸従事者)							
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)						
市町との連携状況	運営委員会は県、市町、産地組合、商工団体で構成している。事業費用は県と市町で折半している。					他県の状況	○各地の伝統工芸後継者育成事業 ・静岡県〔クラフトマンサポート事業〕月10万円 最長2年間支援 ・東京都荒川区〔荒川の匠育成事業〕月14万円 最長3年間支援 ・鳥取県〔ふるさと産業支援事業〕月17万円 最長2年間支援 (経費は県と市町村が折半)						

## 越前ものづくりの里プロジェクト

区分	拡充	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	産業労働部	課名	産業技術課	課長名	大塚 智樹				
事業主体	越前ものづくりの里プロジェクト運営委員会、鯖江市、越前市、越前町、小浜市				事務 区分	■ 自治事務	事業 区分	□ 実行予算	事業 開始 年度	H26 年度 経過年数 9 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R5 年度			
事業実施方法	負担金、補助												□ 法定受託事務	■ 補助金	■ その他
補助率	県1/2、市町1/2														
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等									
予算額	34,994	17,497			17,497	地方創生推進交付金									
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位：千円)</span>															
区 分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	令和4年度予算額の増減理由								
当初予算額の推移		33,496	35,050	33,594	33,594	34,994	・ 創業支援事業の追加による増								
2月現計予算額の推移		29,557	31,051	28,233	24,342										
決算額の推移		28,713	27,403	26,957											
前年度までの 主な増減理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成30年度 産地連携事業の充実による増</li> <li>・令和元年度 産地連携事業の充実による増</li> </ul>														
[成果指標等の推移]															
区 分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠						
成果指標	伝統工芸職人塾 長期塾生数(人)	(目標) (60)	(80)	(100)	(120)	(140)	(150)	(200)	毎年10名程度採用(延べ人数、累計)						
		実績 75	96	115											
活動指標	伝統工芸職人塾 座学回数(回)	(目標) (24)	(24)	(24)	(24)	(24)	(24)	(24)	月2回						
		実績 24	24	12											
[事業の評価]															
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和4年度の変更点				事業評価							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・伝統工芸職人塾長期塾生数(3年度累計見込み)132名</li> <li>・座学(対面)回数(3年度見込み)20回</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>・伝統工芸職人塾修了後の産地への定着を促進するため、創業支援事業を追加。</li> </ul>				■ 拡充	□ 縮減	□ 終期の見直し	見直し額				
								□ 継続	□ 休止	□ 完了					
								□ 整理統合	□ 廃止	□ その他					



## 産業観光ビジネス支援事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	産業労働部	課名	産業技術課	課長名	大塚 智樹	
事業主体	事業者				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	□ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R2 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度
事業実施方法	補助											
補助率	県2/3											
福井県長期ビジョン における位置付け	分 野 [ II 成長を創る(産業力) ] 政 策 [ 6 地域経済のイノベーション ]				関連する県の計画等		[ 福井経済新戦略 ]					
[解決すべき問題・課題]  観光客を呼び込む産業観光のビジネス化と産地の賑わい創出						[問題・課題を表す客観的データ]  ・産業観光施設の集客数 40万人(元年度)→25万人(2年度)						
[事業目的] 北陸新幹線福井・敦賀開業に向けた産業観光ビジネスモデル構築のため、デザイナー等の専門家の監修による見学・体験メニュー等の開発に挑戦する企業を支援する。												
[事業内容] ○体験メニュー開発等に取り組むものづくり企業への支援 事業内容 : 企業の工場見学や体験メニュー開発等の経費を助成 (1) スポット店舗 デザイナー等の専門家の監修による見学・体験メニュー等の開発、情報発信 (2) HUB拠点 上記に加え、営業・PR等に対応するスタッフの配置等 補助対象 : 伝統工芸、眼鏡等県内ものづくり企業や県内企業集団、産地組合等 補助率 : 2/3 補助上限額 : (1) スポット店舗 3,000千円/件 (2) HUB拠点 5,000千円/件												
[受益者] 県民全体						[想定される受益者数] 約78万人						
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・ 役割分担	■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況	—					他県の状況	—					

## 産業観光ビジネス支援事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	産業労働部	課名	産業技術課	課長名	大塚 智樹	
事業主体	事業者				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	□ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R2 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度
事業実施方法	補助											
補助率	県2/3											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	20,379				20,379							
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位：千円)</span>												
区 分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	令和4年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移				25,379	15,379	20,379	・ H U B 拠点の補助上限を1,000万円から500万円に減額					
2月現計予算額の推移				12,277	3,136							
決算額の推移				11,242								
前年度までの 主な増減理由	・ 3年度 支援メニューの一部（HUB拠点）を別事業に組み替えたため減											
[成果指標等の推移]												
区 分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	産業観光施設の集客数 (人) (目標) 実績			(530,000) 256,000	(66,000)	(800,000)	(660,000)	(800,000)	令和元年度（40万人）に対し、令和4年度に倍増（80万人）			
活動指標	ものづくり企業支援件数 (社) (目標) 実績			(6) 6	(5)	(6)	(11)	(17)				
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和4年度の変更点				事業評価				
・ 新型コロナウイルス感染拡大の影響により、産業観光施設の集客数は目標に達しない見込み。 ・ 3年度の採択件数 スポット店舗3件				—				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

## 新幹線開業に向けた新たなF-TRAD商品開発支援事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	産業労働部	課名	産業技術課	課長名	大塚 智樹	
事業主体	県				事務 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務  <input type="checkbox"/> 法定受託事務	事業 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業 開始 年度	R4 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R5 年度
事業実施方法	直営、補助											
補助率	2/3											
福井県長期ビジョンにおける位置付け	分野 [ Ⅲ 楽しみを広げる (創造力) ] 政策 [ 10 北陸新幹線開業効果を最大化 ]				関連する県の計画等		[ 福井経済新戦略 ]					
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ブランド価値の向上に向け、F-TRAD (FUKUI TRAD) のラインナップ拡充</li> <li>・新幹線開業に向けて伝統工芸品の技術を活用した手頃な価格帯の新商品開発</li> </ul>						<ul style="list-style-type: none"> <li>・販売中のFUKUI TRAD商品数14品 (R4. 3)</li> <li>・販売価格：平均約14, 000円</li> </ul>						
[事業目的]												
従来のFUKUI TRAD事業についてブランド名、商品ラインナップ、販売方法を見直すとともに、県内外のデザイナー等と連携し、コンセプトに合う製品の認定や新商品の開発支援を通じたF-TRAD (FUKUI TRAD) ラインナップの充実および販売環境の整備を図ることにより、本県伝統工芸品のPR・需要拡大につなげる。												
[事業内容]												
①F-TRADブランド製品の認定 F-TRADのコンセプト (現代の生活様式に合ったアップデート品) に合う既製品 (デザイン等改良品を含む) を認定												
②新幹線開業に向けた新商品の開発支援 手頃な価格帯 (2～3千円程度) の土産品の開発など、県外デザイナーとの共同開発を伴走支援												
③ECサイト等を活用したPR・販売拡大 ・雑誌等メディアでの特集記事の掲載 ・専用のEC販売サイトの整備 (動画による製品の特徴紹介やコーディネート提案など) ・県内外におけるF-TRAD商品取扱店舗の拡大												
[受益者] 伝統工芸企業						[想定される受益者数] 400社以上						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市町民や県外訪問者等に対する事業PR</li> <li>・市町や伝統工芸組合が参加する協議会において関連事業を実施</li> </ul>					他県の状況						

## 新幹線開業に向けた新たなF-TRAD商品開発支援事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	産業労働部	課名	産業技術課	課長名	大塚 智樹				
事業主体	県				事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他		事業開始年度	R4 年度	事業終了予定年度 (見直し年度)	R5 年度	
事業実施方法	直営、補助											経過年数			1 年
補助率	2/3														
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等								
予算額	16,187					16,187									
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位：千円)</span>															
区分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	令和4年度予算額の増減理由								
当初予算額の推移						16,187									
2月現計予算額の推移															
決算額の推移															
前年度までの 主な増減理由															
[成果指標等の推移]															
区分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠						
成果指標	「FUKUI TRAD」販売額 (千円)	(目標)				(6,000)	(24,000)	(24,000)	@200千円 × 下記商品数 × 2箇所 (デザイン企業のショップ、アンテナショップ)						
		実績													
活動指標	「FUKUI TRAD」商品数 (累計)	(目標)				(40)	(60)	(60)	R4：認定製品30品＋新規開発品10品 (補助金支援分) 最終目標：認定製品50品＋新規開発品10品 (補助金支援分)						
		実績													
[事業の評価]															
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和4年度の変更点				事業評価							
-				-				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額				
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了					
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他					

## 伝統工芸品活用支援事業

区分	拡充	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	産業労働部	課名	産業技術課	課長名	大塚 智樹				
事業主体	事業者				事務 区分	■ 自治事務	事業 区分	□ 実行予算	事業 開始 年度	R3 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R5 年度			
事業実施方法	補助												□ 法定受託事務	■ 補助金	□ その他
補助率	1/2以内														
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [ III 楽しみを広げる(創造力) ] 政策 [ 10 北陸新幹線開業効果を最大化 ]				関連する県の計画等		[ 福井経済新戦略 ]								
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]									
<ul style="list-style-type: none"> <li>・新幹線開業に向けた伝統工芸品の認知度向上</li> <li>・工芸品需要の拡大</li> </ul>						<ul style="list-style-type: none"> <li>・工芸産地の年間生産額 対前年度比▲5.2% (2年度) ※産地組合調べ(7産地計)</li> </ul>									
[事業目的]															
北陸新幹線福井・敦賀開業に向けて、県内外の宿泊施設や飲食店等における伝統工芸品の活用を促進し、本県伝統工芸品の魅力発信および需要拡大を図る。															
[事業内容]															
<p>県内外の宿泊施設や飲食店等における伝統的工芸品の活用に必要な経費の一部を補助する。</p> <p>(1) 補助対象者 観光客などが多数利用する県内外の宿泊施設、飲食店等</p> <p>(2) 補助対象経費</p> <p>①福井県の伝統的工芸品の技術を活かした内外装材の導入に必要な経費 補助率：1/2以内 補助上限額：150万円</p> <p>②施設・店舗内で食器等の伝統的工芸品を利用しPRする場合の工芸品の導入に必要な経費 補助率：1/2以内 補助上限額：100万円</p>															
[受益者] 県民全体						[想定される受益者数] 約78万人									
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)				関連事業の有無・ 役割分担		<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 住宅への伝産品利用促進事業 (役割分担) 個人住宅に越前瓦・越前和紙を導入する場合は上記事業を活用し、宿泊施設等に伝統工芸品を活用する場合は、本事業により支援を行い、従来の枠を超えた新しい分野での工芸品の需要拡大を図る。								
市町との連携状況	—				他県の状況		—								

## 伝統工芸品活用支援事業

区分	拡充	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	産業労働部	課名	産業技術課	課長名	大塚 智樹		
事業主体	事業者				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務		事業 区分	<input type="checkbox"/> 実行予算	事業 開始 年度	R3 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R5 年度
事業実施方法	補助								<input type="checkbox"/> 補助金				
補助率	1/2以内								<input type="checkbox"/> その他				
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等							
予算額	22,000				22,000								
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位：千円)</span>													
区 分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	令和4年度予算額の増減理由						
当初予算額の推移					12,000	22,000	補助対象事業を拡大（事業内容の（2）②）						
2月現計予算額の推移					5,903								
決算額の推移													
前年度までの 主な増減理由													
[成果指標等の推移]													
区 分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	伝統工芸品導入施設数 (件)	(目標)			(8)	(16)	(16)	(24)	毎年8件程度採択				
		実績											
活動指標	伝統工芸品導入金額 (千円)	(目標)			(24,000)	(48,000)	(48,000)	(96,000)	8件×24,000千円/件				
		実績											
[事業の評価]													
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和4年度の変更点				事業評価					
採択件数（令和3年度）6件				補助対象事業を拡大（事業内容の（2）②）				<input checked="" type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額		
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了			
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他			

## 住宅への伝産品利用促進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	産業労働部	課名	産業技術課	課長名	大塚 智樹				
事業主体	事業者				事務 区分	■ 自治事務	事業 区分	□ 実行予算	事業 開始 年度	H26 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度			
事業実施方法	補助								□ 法定受託事務	■ 補助金			□ その他	経過年数	9 年
補助率	瓦・和紙ともに1,000円/m <sup>2</sup> (上限100千円)														
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [ II 成長を創る (産業力) ] 政策 [ 6 地域経済のイノベーション ]				関連する県の計画等		[ - ]								
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]									
生活様式の変化に伴う越前瓦、越前和紙の需要減						<ul style="list-style-type: none"> <li>・越前瓦出荷額 1,950百万円 (H19) →315百万円 (R2)</li> <li>・越前和紙生産額 4,200百万円 (H19) →1,945百万円 (R2)</li> </ul>									
[事業目的]															
住宅の新築時や、リフォーム時に越前瓦や越前和紙を使用する場合に、導入経費の一部を助成し、低迷している福井固有の地場製品の需要の拡大を図る。															
[事業内容]															
<p>「越前瓦」・「越前和紙」の需要拡大支援</p> <p>①新築・リフォーム時の越前瓦・越前和紙の使用支援 (6,000千円)          県産材活用課が実施している「県産材を活用したふくい住まい支援事業」の対象者が、          屋根材に越前瓦を、襖紙や壁紙に越前和紙を使用する場合、導入経費の一部を助成 (上限各10万円)</p> <p>②上記支援制度の案内パンフレットの作成 (205千円)</p> <p>③確認業務委託 (30千円)          施工現場確認等の業務を福井県建築組合連合会・福井県木材組合連合会に委託</p>															
[受益者] 県産材を活用した新築・リフォームに際し、越前瓦、越前和紙を導入した施主						[想定される受益者数] 60名 (越前瓦、越前和紙の導入支援を受けた県民の述べ人数)									
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 県産材を活用したふくい住まい支援事業 (役割分担) 県産材を活用した新築・リフォーム時に対し、その敷地面積に応じて補助金を支給。 さらに屋根材として越前瓦、和室などに越前和紙を使用する場合には、当事業において上乗せ補助を実施。								
市町との連携状況	—					他県の状況	住宅の屋根に瓦を使用する場合の助成制度は一部見られるが、住宅の壁紙等に和紙を使用する場合の助成制度なし。								

## 住宅への伝産品利用促進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	産業労働部	課名	産業技術課	課長名	大塚 智樹	
事業主体	事業者				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	□ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H26 年度 経過年数 9 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度
事業実施方法	補助											
補助率	瓦・和紙ともに1,000円/㎡(上限100千円)											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	6,235				6,235							
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位：千円)</span>												
区 分	平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	令和4年度予算額の増減理由						
当初予算額の推移	10,277	9,246	8,245	8,245	6,235	・実績減に伴い、補助金額の減						
2月現計予算額の推移	5,580	7,221	4,095	4,596								
決算額の推移	5,251	5,809	3,296									
前年度までの 主な増減理由												
[成果指標等の推移]												
区 分	平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	補助件数	(目標) (100) 実績 60	(80) 65	(80) 41	(80)	(60)	(60)	越前瓦30件、越前和紙30件 計60件				
活動指標	パンフレット配布数	(目標) (3,000) 実績 3,000	(3,000) 3,000	(3,000) 3,000	(3,000)	(3,000)	(3,000)					
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価			実績を踏まえた令和4年度の変更点				事業評価					
越前瓦33件、越前和紙16件 計49件(令和4年2月末現在) 新型コロナウイルス感染拡大の影響による住宅着工件数減に伴い、 目標に達成しない見込み。			補助実績減に伴い、事業費を減額。				<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額		
							<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	2,010		
							<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他			



## オープンファクトリーによる産地活性化支援事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	産業労働部	課名	産業技術課	課長名	大塚 智樹	
事業主体	企業グループ				事務 区 分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区 分	□ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開 始 年 度	R4 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	補助											
補助率	1/2											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [ II 成長を創る(産業力) ] 政策 [ 6 地域経済のイノベーション ]				関連する県の計画等		[ - ]					
[解決すべき問題・課題] 買い手側に、ものづくりの作業工程を踏まえた商品価値を理解してもらうためには、福井の工場や工房に足を運んでもらい、自分の目で見て、手で触ってもらうといった「現場に来てもらう流れ」を作ることが重要である。						[問題・課題を表す客観的データ] 県内の企業が複数集まって、県外から商談相手を呼ぶ体制：現在なし						
[事業目的] 産地振興の一主体として、産地組合や業種の枠を超えて集まる企業グループが実施するオープンファクトリーを活用した産地活性化支援事業に対して支援を行う。												
[事業内容]  (1) 補助対象者 県内の製造業者（3社以上）が参加する企業グループ (2) 対象業種 繊維、眼鏡、伝統工芸 (3) 補助率 1/2 (4) 補助上限額 3,000千円（事業費ベース：約6,000千円） (5) 事業内容 BtoB向けとして、県外から商談相手を産地に招待し、県内の複数の工場・工房を巡り、製造工程・品質等を直接確認してもらいながら、商談や商品開発の企画を実施 (6) 事業の種類 ①ファクトリーツアー型：主に商品企画者向け ②産地商談型：主にバイヤー向け (7) 採択件数 4グループ												
[受益者] 県内の繊維、眼鏡、伝統工芸の企業						[想定される受益者数] 約30社						
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・ 役割分担		■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)				
市町との連携状況	-					他県の状況		-				

## オープンファクトリーによる産地活性化支援事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	産業労働部	課名	産業技術課	課長名	大塚 智樹			
事業主体	企業グループ				事務区分	■ 自治事務		事業区分	□ 実行予算		事業開始年度	R4 年度	事業終了予定年度 (見直し年度)	R6 年度
事業実施方法	補助					□ 法定受託事務			■ 補助金			R4 年度		
補助率	1/2					□ その他			□ その他			経過年数 1 年		
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等							
予算額	12,000					12,000								
[予算額の推移等]												(単位：千円)		
区分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	令和4年度予算額の増減理由							
当初予算額の推移						12,000								
2月現計予算額の推移														
決算額の推移														
前年度までの主な増減理由		-												
[成果指標等の推移]														
区分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠					
成果指標	参加企業の売上 (目標) 実績					(0)	(40,000)	(40,000)	目標 1グループ10,000千円					
活動指標	支援する企業グループ数 (目標) 実績					(4)	(4)	(4)	繊維 2、眼鏡 1、伝統工芸 1					
[事業の評価]														
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和4年度の変更点				事業評価						
-				-				□ 拡充	□ 縮減	□ 終期の見直し	見直し額			
								□ 継続	□ 休止	□ 完了				
								□ 整理統合	□ 廃止	□ その他				

## 大規模イベント商機獲得支援事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	産業労働部	課名	産業技術課	課長名	大塚 智樹		
事業主体	県、企業				事務 区 分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区 分	□ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R4 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度	
事業実施方法	直営、補助									経過年数			1 年
補助率	1/2									1 年			
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [ II 成長を創る(産業力) ] 政策 [ 6 地域経済のイノベーション ]				関連する県の計画等		[ - ]						
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]							
県内企業が、大規模イベントの商機を十分捉えきれていない。						ふくい桜マラソン関連商品：現在なし 大阪・関西万博関連商品：現在なし							
[事業目的]													
令和5(2023)年度末開催予定のふくい桜マラソンや、令和7(2025)年開催予定の大阪・関西万博といった大規模イベントを商機として捉え、県内企業が行う商品開発等に対して支援を行う。													
[事業内容]													
(1) イベント関連商品の売り込みやコンペなどの情報収集および情報提供（ゼロ予算） ふくい桜マラソンや大阪万博等の大規模イベントにおける商機となるような各種情報を収集。県ホームページ等により有益な情報を県内企業に情報提供する。 (2) 大規模イベント関連商品開発支援事業補助金 ふくい桜マラソンや大阪・関西万博に関連する商品の開発に対して支援する。 ① イベント内容に直結する新商品の開発支援（マラソンウェアの開発、パビリオン出展品の開発など） ・補助対象者 県内製造業者（個社またはグループ） ・補助対象経費 試作品開発費、実証費 ・補助率 1/2（補助上限額 個社：2,000千円、グループ：3,000千円） ・採択予定数 3件 ② ノベルティグッズまたは販売用の記念グッズの開発費 ・補助対象者 県内製造業者（個社またはグループ） ・補助対象経費 試作品開発費 ・補助率 1/2（補助上限額 個社：1,000千円、グループ：2,000千円） ・採択予定数 3件													
[受益者] 県内企業						[想定される受益者数] 6件							
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況	-					他県の状況		-					

## 大規模イベント商機獲得支援事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	産業労働部	課名	産業技術課	課長名	大塚 智樹		
事業主体	県、企業				事務 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		<input type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他		事業 開始 年度	R4 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	直営、補助												
補助率	1/2												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等						
予算額	11,000	5,500			5,500		地方創生推進交付金						
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位：千円)</span>													
区 分			平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	令和4年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移							11,000						
2月現計予算額の推移													
決算額の推移													
前年度までの 主な増減理由	-												
[成果指標等の推移]													
区 分			平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	開発した商品の販売額	(目標) 実績					(0)	(144,000)	(144,000)	目標 1企業8,000千円			
活動指標	支援する企業数	(目標) 実績					(6)	(18)	(18)	目標 新商品開発支援 単独2件、グループ1件 ノベルティグッズ等開発支援 単独2件、グループ1件			
[事業の評価]													
前年度の実績・成果指標等の定量的評価					実績を踏まえた令和4年度の変更点					事業評価			
-					-					<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
										<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
										<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

## 「実は福井」の技 普及事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	産業労働部	課名	産業技術課	課長名	大塚 智樹	
事業主体	県				事務 区 分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区 分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開 始 年 度	H21 年度 経過年数 14 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	直営											
補助率	—											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [ II 成長を創る(産業力) 政策 [ 7 Societh5.0時代の新産業創出 ] ]				関連する県の計画等	[ 福井経済新戦略 ]						
[解決すべき問題・課題] 県内企業の持つ優れた技術をPRする力が弱く、県内技術が県内外に知れ渡っていない。						[問題・課題を表す客観的データ] 実は福井の技掲載企業のマスコミ等への情報発信数 H28 30件、H30 51件、R2 47件						
[事業目的] 「実は福井」の技を活用し、県内の優れた技術を国内外でPRすることで、新規販路開拓の支援を行う。また、県内の高校生等に県内企業の実力・魅力について知ってもらい、地元企業に対する興味や親しみを持つとともに将来にわたって本県ものづくり産業に対する理解を深めてもらうため、「実は福井」の技を配布する。												
[事業内容] (1) 「『実は福井』の技」による情報発信 ○ 内 容 マスコミ各社、大学等、県外からのビジネスマン向けに県内ホテルに配布、県外大手ユーザー企業との商談会で冊子を活用したPRを実施する。 (印刷部数2, 900部) (2) 「『実は福井』の技」の県内高校生および中学生への配布 ○ 内 容 県内の私立高校2年生に対して「『実は福井』の技」を配布し、進路指導等の時間において企業研究や優れたものづくり技術を学習する機会を提供する。 ○ 配布部数 2, 100 部 (3) 「『実は福井』の技」のUターン就職を推進する各種事業における活用 [事業所管課：交流文化部定住交流課] ○ 内 容 県外学生のUターン就職に向けた各種事業(ふるさと企業魅力発見フェア、理系就活支援事業、保護者セミナー等)において、県内企業の実力を知ってもらうための資料として活用する。 ○ 配布部数 1, 000 部												
[受益者] 県内企業、県内高校2年生等						[想定される受益者数] 掲載企業 約150社、県内高校生 約7,500名						
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況						他県の状況	新潟県 「にいがた モノ・クリエイト」(2019/3発行)					

## 「実は福井」の技 普及事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	産業労働部	課名	産業技術課	課長名	大塚 智樹	
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	H21 年度 経過年数 14 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	直営											
補助率	—											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	3,174				3,174							
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区分	平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	令和4年度予算額の増減理由						
当初予算額の推移	4,160	2,804	5,599	5,195	3,174	R3年度は3年に1度の改訂を行う年であったが、令和4年度は増刷のみのため減額となっている。						
2月現計予算額の推移	4,160	2,804	5,599	5,195								
決算額の推移	3,769	2,310	2,379									
前年度までの 主な増減理由	・ 令和3年度は、3年に1度の改訂を行うため経費増（令和2年度の改定は中止）											
[成果指標等の推移]												
区分	平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	「実は福井」の技 主要 経済誌等への掲載回数 (目標)	(238)	(30)	(51)	(51)	(51)	(51)	(51)	前3年の最大値			
	実績	51	48	47								
活動指標	進路指導等での「実は福 井」の技活用回数 (目標)	(77)	(96)	(81)	(83)	(83)	(83)	(83)	前3年の最大値			
	実績	81	85	83								
活動指標	「実は福井」の技 本冊 発行部数 (目標)	(3,500)	(3,500)	(2,500)	(4,300)	(3,990)	(3,990)	(3,990)	予算の冊数			
	実績	6,300	1,200	1,775	6,090							
活動指標	「実は福井」の技 高校 生への配布部数 (目標)	(5,600)	(5,700)	(7,700)	(2,100)	(2,100)	(2,100)	(2,100)	県内高校2年生の生徒数（R3年度からデータでの配布も含む）			
	実績	5,700	6,500	7,425	6,863							
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和4年度の変更点				事業評価				
昨年度は、企業等への配布や県内高校生への配布を行った。アンケート調査を行ったところ、掲載企業から営業の際に本冊子を使用しており、県から認められた技術と提供いただけることで、信頼が上がり、商談に繋げやすいなど、好評を得ている。また、幕張メッセで開催された展示会では、配布冊子が即刻なくなるなど、情報発信ツールとして、今後も継続して欲しいといった声が県内企業から多数上がっている。				—				□ 拡充	■ 縮減	□ 終期の見直し	見直し額	
								□ 継続	□ 休止	□ 完了	2,021	
								□ 整理統合	□ 廃止	□ その他		

## 宇宙産業ビジネス化支援事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	産業労働部	課名	産業技術課	課長名	大塚 智樹	
事業主体	県、県内企業				事務 区 分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区 分	■ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開 始 年 度	R4 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	直営、補助											
補助率	2/3											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [ II 成長を創る(産業力) ] 政策 [ 7 Societh5.0時代の新産業創出 ]				関連する県の計画等		[ 福井経済新戦略 ]					
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 安定した衛星製造受注の獲得、衛星運用技術の習得</li> <li>・ 衛星データ利活用ビジネスモデルの構築</li> </ul>						<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 宇宙関連産業の国内市場規模2.3兆円を2030年早期までに倍増(宇宙基本計画)</li> <li>・ 宇宙産業に関する県内企業の売上額 2.3億円(R2)</li> </ul>						
[事業目的]												
人工衛星製造分野および衛星データ利活用分野における県内企業のビジネスモデルの構築を支援するとともに、国内トップクラス研究員による人材育成等により、県内宇宙産業の拡大を図る。												
[事業内容]												
<ul style="list-style-type: none"> <li>①衛星運用技術の習得 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県内企業が衛星運用技術習得のために製造する衛星の製造・打上げを支援(補助率:2/3)</li> </ul> </li> <li>②農業分野での衛星データ利活用手法の確立 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「すいせん」データの農業分野での利活用を推進し、衛星画像利用システムの商品価値を向上</li> </ul> </li> <li>③宇宙産業人材の育成 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 国内トップクラス研究員による衛星の製造・運用・評価試験に関する研修を実施</li> </ul> </li> <li>④最先端技術の情報収集、県内企業とのマッチング <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 先進地視察や学会への出展により、最先端の情報を収集し県内企業の技術とマッチング</li> <li>・ 大手宇宙機器メーカー、外部有識者による講演、セミナーを通じ県内企業に技術支援</li> </ul> </li> </ul>												
[受益者] 県内企業等						[想定される受益者数] 85企業・団体						
前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 宇宙産業拡大支援事業 (実績) 宇宙分野へ参入する県内企業等:69企業・団体(R2末時点)					関連事業の有無・ 役割分担		<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 県民衛星プロジェクト支援事業 (役割分担) ・ 本事業では、衛星運用技術の習得や宇宙産業への参入、人材育成にかかる費用を計上 ・ 県民衛星プロジェクト支援事業では、福井県民衛星技術研究組合の活動に関する経費を計上				
市町との連携状況						他県の状況						

## 宇宙産業ビジネス化支援事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	産業労働部	課名	産業技術課	課長名	大塚 智樹					
事業主体	県、県内企業				事務 区分	■ 自治事務		事業 区分	■ 実行予算		事業 開始 年度	R4 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度		
事業実施方法	直営、補助					□ 法定受託事務			■ 補助金						□ その他	
補助率	2/3															
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等									
予算額	25,597	17,954			7,643		地方創生推進交付金、特別電源所在県科学技術振興事業補助金									
[予算額の推移等]												(単位：千円)				
区 分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	令和4年度予算額の増減理由									
当初予算額の推移						25,597										
2月現計予算額の推移																
決算額の推移																
前年度までの 主な増減理由																
[成果指標等の推移]																
区 分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠							
成果指標	宇宙分野へ参入する県内 企業・団体数 (目標) 実績					(75)	(85)	(85)	宇宙産業創出研究会の参画企業数							
活動指標	ビジネスマッチング会開 催件数 (目標) 実績					(2)	(2)	(2)	毎年2回開催							
[事業の評価]																
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和4年度の変更点				事業評価								
—				—				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額					
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了						
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他						



## ヘルスケア産業拡大支援事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	産業労働部	課名	産業技術課	課長名	大塚 智樹			
事業主体	県、県内企業				事務 区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務  <input type="checkbox"/> 法定受託事務		事業 区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他		事業 開 始 年 度	H25 年度 経過年数 10 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	直営、委託													
補助率	—													
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [ II 成長を創る(産業力) ] 政策 [ 7 Societh5.0時代の新産業創出 ]				関連する県の計画等		[ 福井経済新戦略、ふくい創生・人口減少対策戦略 ]							
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]								
・県内企業の優れたものづくり技術の新規分野への展開 ・「医療」、「介護」、「健康」産業への新たな地場産業化 ・県内におけるヘルスケア関連製品、サービス開発体制の自立化						・ヘルスケア分野の今後の市場規模予測(経産省) 2016年 約25兆円 → 2025年 約33兆円 ・県内ヘルスケア関連製品の売上額(県調べ) 2013年 75億円 → 2020年 138億円								
[事業目的]														
医療・介護機器に加え、公的保険外の予防・健康管理機器・サービスについて、製品開発、販路開拓に対して重点的に支援を行うことで、健康寿命の延伸と新産業の創出を同時に達成し、医療費・介護費の削減、県内ヘルスケア産業の振興を図る。														
[事業内容]														
(1) ヘルスケア製品開発・販路開拓支援事業(15,828千円) ヘルスケア製品。サービス開発・実証に係る費用の委託により製品化支援、展示商談会開催、伴走コーディネーターによるマーケティング支援による販路開拓支援を行い、県内企業のヘルスケア分野への参入、産業振興を目指す。 ①製品化支援事業(実証化支援委託、現場ニーズ・シーズのマッチングセミナー) ②販路開拓支援事業(マーケティング伴走支援・展示商談会)														
(2) 協議会会員交流促進事業(985千円) オンラインサロンおよび協議会総会を開催し、福井しあわせ健康産業協議会会員同士の情報交換および会員同士の交流を促進することで会員企業グループにおける製品・サービスの共同開発を促進する。 ①オンラインサロンの開催 ②福井しあわせ健康産業協議会総会の開催														
[受益者] 県内ものづくり企業						[想定される受益者数] 766社								
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)						
市町との連携状況						他県の状況		○富山県 ・セミナー、ヘルスケア研究施設等見学会の開催 ・専属コーディネーターによるハンズオン支援 ・ヘルスケア製品の研究開発への支援補助金 など  ○石川県 ・展示会出展支援、外部専門家による指導 など						

## ヘルスケア産業拡大支援事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	産業労働部	課名	産業技術課	課長名	大塚 智樹		
事業主体	県、県内企業				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	H25 年度 経過年数 10 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R6 年度	
事業実施方法	直営、委託												
補助率	—												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等							
予算額	16,813	13,450			3,363	地域活性化雇用創造プロジェクト補助金							
[予算額の推移等]													
区分			平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	令和4年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移			8,651	13,200	20,138	16,474	16,813	・実証化支援委託の設置 ・現場ニーズ・シーズのマッチングセミナーの開催					
2月現計予算額の推移			8,024	11,339	11,538	15,609							
決算額の推移			6,177	10,060	8,034								
前年度までの 主な増減理由		令和2年度：ヘルスケアビジネス研究会において創出されたビジネスプランの実証に係る補助制度の創設による予算増											
[成果指標等の推移]													
区分			平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	ヘルスケア産業売上額 (億円)	(目標) 実績	(101) 111	(110) 126	(119) 138	(128)	(137)	(155)	(299)	長期ビジョン、福井経済新戦略にて、2024年までの目標を設定済。2040年まで同ペースで伸びていくと仮定			
活動指標	ヘルスケア製品の開発、販売 支援件数	(目標) 実績	(26) 20	(19) 17	(20) 33	(15) 23	(20)	(20)	(20)	実証化支援(4件)、展示会出展(10件)、販路開拓支援(6件)の合計件数			
[事業の評価]													
前年度の実績・成果指標等の定量的評価					実績を踏まえた令和4年度の変更点				事業評価				
・県内ヘルスケア産業売上額 R2年度 138億円 ・ヘルスケアビジネスプラン実証事業補助金 1件採択 ・ヘルスケア関連メーカー・ディーラーとの展示商談会 11社出展 ・ヘルスケアビジネス研究会によるビジネスプラン策定 11社参加					・実証化支援委託の実施 ・現場ニーズ・シーズのマッチングセミナーの開催				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
									<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
									<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

## 北陸技術交流テクノフェア開催事業費補助金

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	産業労働部	課名	産業技術課	課長名	大塚 智樹			
事業主体	技術交流テクノフェア実行委員会					事務 区 分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区 分	<input type="checkbox"/> 実行予算	事業 開始 年度	H16 年度 経過年数 19 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R5 年度	
事業実施方法	補助								<input checked="" type="checkbox"/> 補助金					<input type="checkbox"/> その他
補助率	1/3								<input type="checkbox"/> その他					
福井県長期ビジョンにおける位置付け	分野 [ II 成長を創る(産業力) ] 政策 [ 7 Societh5.0時代の新産業創出 ]					関連する県の計画等		[ 福井経済新戦略 ]						
[解決すべき問題・課題] 福井県内には、県内企業の新技术や新製品を発表し、販路開拓に繋げるための展示商談の機会が少ない。						[問題・課題を表す客観的データ] 北陸技術交流テクノフェア 出展者数 180社(R1) さばえものづくり博覧会 出展者数 83(R1)※大多数が鯖江の地元企業 越前おおの産業と食彩フェア 71社(R1)※大多数が大野の地元企業								
[事業目的] 本県のものづくり技術や付加価値の高い新商品開発力を県内外の企業に示し、新たな販路を開拓するため、北陸最大規模の展示商談会である「北陸技術交流テクノフェア」の開催を支援する。														
[事業内容] 北陸技術交流テクノフェア2022(主催:技術交流テクノフェア実行委員会/事務局:福井商工会議所) ○開催時期 令和4年10月下旬(2日間) ○開催場所 福井県産業会館 ※コロナウイルス等感染症拡大状況によってはオンライン開催を予定。 ○主要内容 ・展示会:技術交流、研究開発、技術移転等に積極的な企業、研究機関、大学・高専、各種団体等が、それぞれが有する技術・製品等を出展 [約150社(約200小間)] ・新製品・新技术プレゼンテーション:テーマごとに、出展者が保有する技術シーズや研究成果、最新の製品、事業化事例などを発表 ・技術相談・商談会:出展者の技術情報を事前にガイドブックにして取りまとめ、技術相談・商談会を実施 ・特別講演:国内大手製造企業のトップによる、企業が成長・発展するための技術開発の必要性や、産学官一体となった取組による技術革新の成功例等についての講演 ・特別企画展:大きな成長やビジネスチャンスの可能性が見込める分野など時宜を得たテーマで特別展示を実施 ○総事業費 29,700千円 ○実行委員会の構成 福井県、福井市、北陸経済連合会、(一財)北陸産業活性化センター、福井商工会議所(事務局)、(公財)ふくい産業支援センター、福井県環境・エネルギー懇話会、フクビ化学工業(株)、セーレン(株)、日華化学(株)、吉岡幸(株)、北陸電力(株)、(株)福井銀行、(株)北陸銀行、(株)北國銀行、福井大学、福井工業大学														
[受益者]						[想定される受益者数]								
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)							
市町との連携状況						他県の状況	◆ 石川県 「MEX(メックス)金沢2021(正式名称:第57回機械工業見本市金沢)」 ※今年度は中止 ※石川県は「後援」(主催:(一社)石川県鉄工機電協会)。定額200万円の補助金を支給 ◆ 富山県 「富山県ものづくり総合見本市2021」 ※隔年開催 ・リアル展示会を中止し、バーチャル展示会のみ実施 ※主催は「富山県ものづくり総合見本市実行委員会」で富山県も入っている。開催費用ほぼ全額の約1億円を支出							

## 北陸技術交流テクノフェア開催事業費補助金

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	産業労働部	課名	産業技術課	課長名	大塚 智樹					
事業主体	技術交流テクノフェア実行委員会				事務区分	■ 自治事務		事業区分	□ 実行予算		事業開始年度	H16 年度 経過年数 19 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R5 年度		
事業実施方法	補助					□ 法定受託事務			■ 補助金						□ その他	
補助率	1/3															
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等									
予算額	9,000	4,500			4,500		地方創生推進交付金									
[予算額の推移等]												(単位：千円)				
区 分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	令和4年度予算額の増減理由									
当初予算額の推移		9,000	9,000	9,000	9,000	9,000										
2月現計予算額の推移		9,000	9,000	9,000	9,000											
決算額の推移		9,000	9,000	5,945												
前年度までの 主な増減理由																
[成果指標等の推移]																
区 分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠							
成果指標	来場者数	(目標) (17,632) 実績 18,294	(18,294) 16,014	(16,014) 28,360	(16,000) 11,186	(16,000)	(16,000)	(16,000)	R2年度はWeb展示会のため、来場者数はホームページの閲覧数をカウント R2年度はWeb展示会のため、実際にテクノフェアをきっかけに商談が生まれたのか把握が難しく、テクノフェアがきっかけと分かっているもののみカウントしているため、減少している。							
	相談・商談件数平均	(目標) (45.7) 実績 34.7	(35) 37.9	(38) 2.0	(38) 26.0	(38)	(38)	(38)								
活動指標	出展者数	(目標) (189) 実績 176	(176) 180	(180) 123	(180) 120	(180)	(180)	(180)								
[事業の評価]																
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和4年度の変更点				事業評価								
新型コロナウイルス感染対策のため、初の試みとなるWeb展示会を開催した。約28,000人のプレビューがあり、会場での展示会より多くの人に製品・技術を発信することができた。一方で、リアルで製品を見ることができないなどのデメリットもあり、商談に繋がりにくいというようなWeb展示ならではの問題も発見することができた。				—				□ 拡充	□ 縮減	□ 終期の見直し	見直し額					
								■ 継続	□ 休止	□ 完了						
								□ 整理統合	□ 廃止	□ その他						

## 公設試験研究機関科学技術情報ネットワーク運営事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	産業労働部	課名	産業技術課	課長名	大塚 智樹	
事業主体	福井県				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H15 年度 経過年数 20 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R5 年度
事業実施方法	直営											
補助率	—											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [ II 成長を創る (産業力) ] 政策 [ 7 Societh5.0時代の新産業創出 ]				関連する県の計画等		[ ]					
[解決すべき問題・課題]  機密性の高い情報を整備するために、専用のネットワークが必要である。						[問題・課題を表す客観的データ]  R2年度 工業技術センター内産学官連携事業 44件						
[事業目的] 公設試験研究機関相互の情報通信ネットワークである「公設試験研究機関科学技術情報ネットワーク(公設試NW)」を活用した、効率的でレベルの高い試験や共同研究、情報の発信や共有等を行っていくため、情報ネットワークの運用および保守管理を行う。												
[事業内容] (1) 公設試験研究機関情報ネットワークの運用 専用回線による各公設試験研究機関および学術情報ネットワーク(インターネット)への接続  (2) 公設試験研究機関情報ネットワークの保守・管理 ネットワークサーバ、端末機、各公設試験研究機関内LAN(有線・無線)、その他(プリンタ・他端末への接続)等の保守・管理												
[受益者]						[想定される受益者数]						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況	公設試NWは、研究データ・利用企業データ等を保護するために、独立したネットワークとして整備されており、市町とは連携していない。					他県の状況	富山県 技術データ共有システム 工業技術センターの3つの研究拠点を結ぶシステムを保有  石川県 工業試験場内のネットワーク 工業試験場～久谷焼センターを結ぶ回線					

## 公設試験研究機関科学技術情報ネットワーク運営事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	産業労働部	課名	産業技術課	課長名	大塚 智樹	
事業主体	福井県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	H15 年度 経過年数 20 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R5 年度
事業実施方法	直営											
補助率	—											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	34,769	34,769			0	特別電源所在県科学技術振興事業補助金						
[予算額の推移等]												
区分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	令和4年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移		37,243	35,948	34,782	36,076	34,769	サーバ、端末等の更新計画による減					
2月現計予算額の推移		34,764	35,948	34,390	35,617							
決算額の推移		34,764	35,202	34,387								
前年度までの 主な増減理由		<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成30年度に大幅な機器の入れ替えを実施したため経費が増となった。</li> <li>・令和3年度にルータ・ファイアウォール機器を更新したため経費が増となった。</li> </ul>										
[成果指標等の推移]												
区分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	サーバーアクセス数(千件) (目標) 実績	(3,400,000) 2,865,724	(3,500,000) 3,860,856	(3,500,000) 4,026,069	(3,500,000)	(3,500,000)	(3,500,000)	(3,500,000)	ネットワーク利用の指標			
活動指標	重大なネットワークトラブル発生数 (目標) 実績	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0)	(0)	(0)	(0)				
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和4年度の変更点				事業評価				
令和3年度にリース機器の更新を行った。				平成29年度に契約を行った機器の再リースを行う。				<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	1,307	
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

## 地域科学技術振興研究事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	産業労働部	課名	産業技術課		課長名	大塚 智樹
事業主体	県				事務 区分	<input type="checkbox"/> 自治事務	事業 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業 開始 年度	H8 年度 経過年数 27 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R5 年度
事業実施方法	直営											
補助率	—											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [ II 成長を創る (産業力) ] 政策 [ 7 Societh5.0時代の新産業創出 ]					関連する県の計画等		[ 福井経済新戦略 ]				
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県内産業への科学技術の振興</li> <li>・ 県内産業からニーズがある研究課題の解決</li> </ul>						テーマ数：38件（特電37、エネ高1） 技術普及講習：20件、論文発表：10件、口頭発表：89件、出展展示：64件 製品数：8件（CFRP関連、試作品提供は除く）（※対象：H28～R2の5年間に終了した事業）						
本県で成長が期待される分野を中心に地域の科学技術振興に寄与する研究開発を、複数の試験研究機関等の連携により実施することで、地域の科学技術振興を図る。												
[事業内容]												
県内の各産業に成果を移転・普及できる調査研究、技術開発で、かつ各産業界や地域からのニーズがある研究テーマ、およびそれらの研究に使用される備品等の整備を行う。												
(1) 新規研究テーマ 29テーマ（薄層テープ材に対応可能なAFP供給機構の開発 など） (2) 継続研究テーマ 17テーマ（AD法による曲面形状へのセラミックスコーティング技術の開発 など） (3) 備品整備および修繕 24件（洗浄評価試験機 など） (4) 保守点検 1件（電子顕微鏡） (5) 研究実施機関 7機関（工業技術センター、食品加工研究所、農業試験場、畜産試験場、水産試験場、総合グリーンセンター、衛生環境研究センター（電子顕微鏡の保守））												
[受益者]						[想定される受益者数]						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況						他県の状況	石川県 ・一つの事業で複数の公設試(組織)に予算を分配する事業があるが、公設試をまたいだ事業はない。 ・国の競争的資金では、一時的に本課が予算計上して公設試に分配する例がある。 富山県 ・一つの事業で複数の公設試に研究予算を分配している事業はない。農林水産総合技術センターに属する機関の間では「特別重点化粋研究事業(県単)」を実施。 ・サポイン事業等、国の競争的資金の場合は、個別テーマで工業系と農水系の公設試が連携し、同一の予算から研究費が出ることもある。					

## 地域科学技術振興研究事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	産業労働部	課名	産業技術課	課長名	大塚 智樹	
事業主体	県				事務区分	□ 自治事務 ■ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	H8 年度 経過年数 27 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R5 年度
事業実施方法	直営											
補助率	—											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等					
予算額	238,425	238,425				0	187,064千円 特別電源所在県科学技術振興事業補助金 51,361千円 エネルギー構造高度化・転換理解促進事業補助金					
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位：千円)</span>												
区 分			30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	令和4年度予算額の増減理由				
当初予算額の推移			497,687	371,865	327,585	266,112	238,425	「エネルギー構造高度化・転換理解促進事業」の減額により、全体額減。				
2月現計予算額の推移			497,687	345,727	295,704	266,141						
決算額の推移			372,050	329,272	291,913							
前年度までの 主な増減理由		<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成30年度から、「エネルギー構造高度化・転換理解促進事業」を「特別電源所在県科学技術振興補助金」と併せて要求。</li> <li>・令和元年度は、「エネルギー構造高度化・転換理解促進事業」の研究テーマの減に伴い、減額となっている。</li> <li>・令和2年度は、特別電源所在県科学技術振興補助金の配分方法見直しにより、減額となっている。</li> <li>・令和3年度も、特別電源所在県科学技術振興補助金の配分方法見直しにより、減額となっている。</li> </ul>										
[成果指標等の推移]												
区 分			平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠		
成果指標	技術移転数	(目標)	(7)	(7)	(7)	(7)	(7)	(7)	(7)	各公設試において1年/件（技術移転とは研究成果を利用した地元企業による、実用化（製品化）件数、共同研究数、外部資金獲得数）		
		実績	14	12	19							
活動指標	研究テーマ数	(目標)	(52)	(56)	(47)	(44)	(44)	(44)	(44)	各公設試における他研究事業も考慮し、当初予算要求段階で申請があった研究数を記載		
		実績	50	55	47	44						
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和4年度の変更点				事業評価				
本事業により実施する研究は各公設研究機関の中心的な研究事業となっており、以下の事業を遂行。R3年度の活動指針を達成している。研究テーマ数44件、備品単独整備数24件、保守・維持運営1R2年度において技術移転19件を行い、成果指標を達成している。				各公設試が行う研究の終了・追加				□ 拡充	■ 縮減	□ 終期の見直し	見直し額	
								□ 継続	□ 休止	□ 完了	27,697	
								□ 整理統合	□ 廃止	□ その他		



## 成長産業チャレンジ支援事業

区分	拡充	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	産業労働部	課名	産業技術課	課長名	大塚 智樹	
事業主体	県				事務 区 分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区 分	■ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R3 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	補助金											
補助率	2/3											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [ II 成長を創る(産業力) ] 政策 [ 7 Societh5.0時代の新産業創出 ]				関連する県の計画等		[ 福井経済新戦略 ]					
[解決すべき問題・課題] 成長産業への進出や新技術の研究開発を行うことができず衰退する企業がある						[問題・課題を表す客観的データ] ・福井県内製造業者 事業所数：2124件（H30年度）→ 2032件（R2年度） （工業統計調査より）						
[事業目的] 県内中小企業の高いものづくり技術を活かし、成長産業への参入や市場拡大、早期事業化の支援を目的に、県内のオープンイノベーションによる技術開発から販売促進までの一貫支援を強化する。												
[事業内容] (1) 成長産業チャレンジ支援事業補助金 ①成長産業可能性調査支援：成長産業4分野(※1)、またはエネルギー関連分野(※2)における新技術・新製品開発の可能性試験調査事業を支援 ②早期事業化技術開発支援：産学官金連携で行う成長産業4分野、またはエネルギー関連分野において、企業がもつ優位技術の課題解決や、早期事業化に資する研究開発を支援 ③地域経済牽引(新規)：産学官金連携で行う成長産業4分野、またはエネルギー関連分野における新技術・新製品の研究開発事業を支援 ④地域経済牽引(継続)：R3年度採択事業者の継続事業 補助率：2/3、補助額：①200～1,000千円 ②1,000～5,000千円 ③④10,000～30,000千円(単年度上限15,000千円) 補助事業者：県内企業または県内企業を代表者とする企業グループ(②③④は中小企業に限る)  ※1…宇宙、航空、ヘルスケア、持続可能な社会に向けた技術開発(自然界で分解する新素材やリサイクル新素材の開発、AI・IoT、ロボット関連の技術開発など) ※2…次世代エネルギー(再生可能エネルギー、水素、燃料電池、アンモニアなど)や省エネルギー関連の技術開発  (2) ふくいオープンイノベーションの運営 戦略会議やセミナーを開催、研究成果を県内企業にPR(オンライン成果展含む)など												
[受益者] 県内中小企業						[想定される受益者数]						
前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 将来のふくいを牽引する技術開発支援事業 (実績) H30 申請8件 採択7件(単年度事業5件、2か年事業2件) R1 申請10件 採択6件(単年度事業5件、2か年事業1件) R2 申請11件 採択7件(単年度事業6件、2か年事業1件)					関連事業の有無・ 役割分担		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)				
市町との連携状況						他県の状況		【石川県】新製品・新技術研究開発支援事業 (基金運用/実施主体は外郭団体) ・補助率：2/3、補助上限：20,000千円、事業期間：3年以内 ・補助率：2/3、補助上限：10,000千円、事業期間：1年以内 【富山県】ものづくり研究開発支援事業 (基金運用/実施主体は外郭団体) 補助率：1/2、補助上限：2,000千円、事業期間：2年以内				

## 成長産業チャレンジ支援事業

区分	拡充	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	産業労働部	課名	産業技術課	課長名	大塚 智樹																		
事業主体	県				事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業開始年度 R3 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年度) R6 年度	R6 年度																		
事業実施方法	補助金																												
補助率	2/3																												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等																							
予算額	63,448	31,724			31,724	地方創生推進交付金																							
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位：千円)</span>																													
区分			平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	令和4年度予算額の増減理由																					
当初予算額の推移						64,742	63,448																						
2月現計予算額の推移						64,542																							
決算額の推移																													
前年度までの 主な増減理由																													
[成果指標等の推移]																													
区分			平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠																			
成果指標	事業化数	(目標) 実績				(0) 0	(0)	(5)	(10)	事業終了後の事業化率 1年後 30% 最終目標 50% (※成長産業可能性調査支援を除く)																			
活動指標	新規支援件数	(目標) 実績				(11) 10	(11)	(33)	(33)	R3 新規11件、継続1件 R4、5 新規11件、継続1件 R6 継続1件																			
[事業の評価]																													
前年度の実績・成果指標等の定量的評価					実績を踏まえた令和4年度の変更点				事業評価																				
<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%;"></td> <td style="width: 25%; text-align: right;">補助総額</td> <td style="width: 25%; text-align: right;">売り上げ累計</td> <td style="width: 25%; text-align: right;">費用対効果</td> </tr> <tr> <td>・将来のふくい (H30~R1)</td> <td style="text-align: right;">56,422千円</td> <td style="text-align: right;">14,146千円</td> <td style="text-align: right;">0.25</td> </tr> <tr> <td>・産学官金連携 (H27~H29)</td> <td style="text-align: right;">170,461千円</td> <td style="text-align: right;">238,039千円</td> <td style="text-align: right;">1.40</td> </tr> <tr> <td>・スピードアップ (H25~H27)</td> <td style="text-align: right;">103,111千円</td> <td style="text-align: right;">1,642,497千円</td> <td style="text-align: right;">15.93</td> </tr> </table> (※将来のふくいR2補助は含まない。売り上げ累計はR2年度末での実績。)						補助総額	売り上げ累計	費用対効果	・将来のふくい (H30~R1)	56,422千円	14,146千円	0.25	・産学官金連携 (H27~H29)	170,461千円	238,039千円	1.40	・スピードアップ (H25~H27)	103,111千円	1,642,497千円	15.93	FOIPの重点分野として、新しく位置づけられたエネルギー分野を補助対象に追加				<input checked="" type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
						補助総額	売り上げ累計	費用対効果																					
					・将来のふくい (H30~R1)	56,422千円	14,146千円	0.25																					
・産学官金連携 (H27~H29)	170,461千円	238,039千円	1.40																										
・スピードアップ (H25~H27)	103,111千円	1,642,497千円	15.93																										
<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了																											
<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他																											

## 地域資源活用共同研究事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	産業労働部	課名	産業技術課	課長名	大塚 智樹	
事業主体	県				事務 区 分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区 分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H25 年度 経過年数 10 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度
事業実施方法	直営											
補助率	—											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [ II 成長を創る (産業力) ] 政策 [ 7 Societh5.0時代の新産業創出 ]				関連する県の計画等		[ 福井経済新戦略 ]					
[解決すべき問題・課題]  県内企業のみでは解決できない技術開発における課題						[問題・課題を表す客観的データ]  県内企業から工業技術センターに寄せられた相談件数：6629件（R2年度実績より）						
[事業目的]  企業が抱えている日常的に生じる技術課題から新産業創出のための新技術開発までの幅広い技術課題に対応し、県内企業の競争力のある技術開発を支援する。												
[事業内容]  <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 個別企業課題対応型共同研究 年4件程度（1研究あたり 800千円程度）</li> <li>・ 業界課題対応型共同研究 年2件程度（1研究あたり1,500千円程度）</li> </ul>												
[受益者] 共同研究者（企業、大学等）						[想定される受益者数] 共同研究者						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況	特になし					他県の状況	石川県工業試験場（予算措置有） <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 企業参画型研究開発</li> <li>・ 企業ニーズ即応型研究開発</li> </ul> 富山県産業技術研究開発センター（予算措置有） <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 若手研究者育成支援研究事業</li> <li>・ 企業との共同研究</li> </ul>					

## 地域資源活用共同研究事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	産業労働部	課名	産業技術課	課長名	大塚 智樹	
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	H25 年度 経過年数 10 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R4 年度
事業実施方法	直営											
補助率	—											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	8,802				8,802							
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位：千円)</span>												
区分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	令和4年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移		8,503	7,930	10,480	10,480	8,802	事業実績に基づく減額					
2月現計予算額の推移		8,503	7,930	10,480	10,480							
決算額の推移		8,574	7,628	10,087								
前年度までの 主な増減理由												
[成果指標等の推移]												
区分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	製品化・事業化件数 (目標) 実績	(3) 3	(3) 2	(2) 2	(3)	(2)	(2)	(2)	研究終了1年後に1/3が製品化・事業化			
活動指標	研究テーマ数 (目標) 実績	(12) 12	(12) 11	(6) 6	(6) 9	(5)	(5)	(5)	採択および継続事業件数			
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和4年度の変更点				事業評価				
R3年度：9件の研究テーマを実施しており活動目標を達成 (1) 個別企業課題対応型共同研究7件 (2) 業界課題対応型共同研究2件				継続研究事業の研究内容見直し				<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
R2年度に新たに製品化した案件 H30年実施分：1件 R元年実施分：1件								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	1,678	
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

## 一般研究事業（競争的資金）

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	産業労働部	課名	産業技術課	課長名	大塚 智樹	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H18 年度 経過年数 17 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R5 年度
事業実施方法	直営											
補助率	—											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [ II 成長を創る (産業力) ] 政策 [ 7 地域経済のイノベーション ]				関連する県の計画等		[ 福井経済新戦略 ]					
[解決すべき問題・課題] ・県内企業が市場ニーズに対応した新技術・新商品を素早く開発するための研究開発の体制構築と費用が課題						[問題・課題を表す客観的データ] ・国や国研等が実施する補助金等への申請数：20件 ・平均事業総額：196百万円 (※対象：H29～R3の期間で申請した事業)						
[事業目的] 国や国研等が実施する競争的資金による研究開発補助金等について、工業技術センターが県内企業や大学等と共同研究体制を構築して補助金申請を行い、共同研究を実施することで産学官による新技術・新商品開発を支援する。												
[事業内容]  1. 戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）事業（国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）） （1）薄層シートの高速製造技術の開発  2. 戦略的基盤技術高度化支援事業（経済産業省） （1）環境を配慮した航空機座席用軽量多層織物クッション材の研究開発 （2）微量液滴アトマイズ法による金属粉末の革新的製造技術開発 （3）省エネ・快適性に貢献する自動車用シート材に対する安定した超音波パンチング連続加工（量産）技術の研究開発  3. 共創の場形成支援プログラム（COI-NEXT）「地域共創分野」本格型（国立研究開発法人科学技術振興機構（JST））												
[受益者] 共同研究者（企業、大学等）						[想定される受益者数] 共同研究者						
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・ 役割分担		■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)				
市町との連携状況						他県の状況		石川県（予算措置有） 〈戦略的基盤技術高度化支援事業〉 ・衛星用バッテリーに搭載するチタン製軽量電池缶ケースのプレス加工金型に付ける表面処理技術の開発 ・デジタル制御燃糸加工技術とエレクトロスプレーメッキ加工技術による導電糸特性の高度化に関する研究開発				

## 一般研究事業（競争的資金）

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	産業労働部	課名	産業技術課	課長名	大塚 智樹	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H18 年度 経過年数 17 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R5 年度
事業実施方法	直営											
補助率	—											
区分	事業費		国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等				
予算額	16,765				(諸) 16,765			0 科学技術振興機構「戦略的イノベーション創造プログラム第2期」 JST「研究成果展開事業 ASTEP」 など				
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位：千円)</span>												
区 分			平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	令和4年度予算額の増減理由				
当初予算額の推移			130,097	127,847	62,478	20,113	16,765	研究計画に基づく減額				
2月現計予算額の推移			223,449	101,893	61,808	16,328						
決算額の推移			140,379	101,355	56,876							
前年度までの 主な増減理由	・ H28～R2年度は、各種競争的試験の申請の採否によって実施する共同研究の本数や所要額の増減があった。											
[成果指標等の推移]												
区 分			平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠		
成果指標	実用化件数	(目標)	(3)	(3)	(3)	(3)	(3)			事業終了後5年以降の研究について製品化件数を実績とする。また競争的資金獲得により次のステップに研究が進展したのもカウント。(SIPは航空機分野で15年後に実用化を目指している。)		
		実績	4	5	5	5						
活動指標	研究テーマ数	(目標)	(5)	(5)	(5)	(5)	(5)			採択および継続事業件数		
		実績	6	5	6	6						
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価					実績を踏まえた令和4年度の変更点			事業評価				
1. (SIP)事業 (内閣府) 1件実施 (継続1件) 2. 戦略的基盤技術高度化支援事業 (経済産業省) 3件実施 (継続3件) 3. (NEDO)事業 (経済産業省) 1件実施 (新規1件)					—			<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	3,348	
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

## 炭素繊維を活用した次世代自動車部材製造技術確立事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	産業労働部	課名	産業技術課	課長名	大塚 智樹	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R3 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	直営											
補助率	—											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [ II 成長を創る(産業力) ] 政策 [ 7 Society5.0時代の新産業創出 ]					関連する県の計画等		[ 福井経済新戦略 ]				
[解決すべき問題・課題] 排ガス規制が叫ばれるなか、日本における次世代自動車（電気自動車、燃料電池車など）のシェアは依然として低い						[問題・課題を表す客観的データ] 2019年の日本の電気自動車シェア約0.2%(約11.7万台) (一般社団法人次世代自動車振興センター、一般財団法人自動車検査登録情報協会より)						
[事業目的] フクビ化学工業(株)と共同で熱可塑性炭素繊維複合材料(CFRTP)の樹脂フィルムの製造からハイサイクルプレス成形までの革新一貫製造プロセスを確立し、電気自動車用の収納ケースや水素自動車用のタンク材料などの開発研究を実施。												
[事業内容] 現状、CFRTPのプレス成形では、金型の加熱・冷却時間がサイクルタイム短縮の大きな弊害になっている。重量のある金型を加工温度(約330度)から脱型温度(約150度)まで変動させるには、多大な時間とエネルギーが必要。 本研究では、新設のプレス機および既設のプレス機の3台のプレス機を用いて、それぞれに予備成形、加熱プレス、冷却プレスの役割を持たせる。被成形材料であるCFRTPを予備プレスすることで樹脂を含浸した板状の平板を作製する。その後、加熱プレスで賦形を行い、加熱状態の成形材のみ取り出し、脱型可能温度まで冷却プレスすることで短時間成形を図る。  <取組内容> ①マテリアル搬送技術の開発 加熱プレス機に適合する仕様の中子金型(主の金型と成形物との間に挟む金型)の設計・開発  ②ハイサイクルHeat&Coolプレス成形技術開発 予備成形、加熱プレス、冷却プレスの3つの工程の連携  目標：製造速度サイクル：3分/個												
[受益者] 共同研究者(企業、大学等)						[想定される受益者数] 共同研究者						
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況						他県の状況						

・ 2035年の電気自動車（EV）の世界市場2418万台（2020年比で11倍）（富士経済より）

<https://news.yahoo.co.jp/articles/685d0a8441e35fd52bc8bb1e8f14e4fee2101556>



## 炭素繊維を活用した次世代自動車部材製造技術確立事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	産業労働部	課名	産業技術課	課長名	大塚 智樹	
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	R3 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	直営											
補助率	—											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	55,000			55,000	0	新エネルギー・産業技術総合開発機構「脱炭素社会実現に向けた省エネルギー技術の研究開発・社会実装促進プログラム」						
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位：千円)</span>												
区 分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	令和4年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移					62,499	55,000	研究計画に基づく減額					
2月現計予算額の推移					27,500							
決算額の推移												
前年度までの 主な増減理由												
[成果指標等の推移]												
区 分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	新規受注件数 (目標) 実績						(1)	(2)	事業終了後15年以内に自動車部品メーカー等からの新規受注を目指す。			
活動指標	研究テーマ数 (目標) 実績				(1)	(1)	(1)	(1)				
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和4年度の変更点				事業評価				
—				—				<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額  7,499	
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

## プロフェッショナル人材マッチング支援事業

区分	拡充	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	産業労働部	課名	産業技術課	課長名	大塚 智樹		
事業主体	福井県				事務 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務  <input type="checkbox"/> 法定受託事務		<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他		事業 開始 年度	H27 年度 経過年数 8 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	直営、補助金												
補助率	-												
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [ II 成長を創る (産業力) ] 政策 [ 7 Societh5.0時代の新産業創出 ]				関連する県の計画等		[ 福井経済新戦略 ]						
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 専門的な知識・技術を有するプロ人材は首都圏に偏在</li> <li>・ コロナ禍の中、新たに副業を検討する層が一定程度存在</li> </ul>						<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 専門的、技術的職業従事者の割合 … 全国15.9%に対して、東京都19.4% (首都圏に偏在)</li> </ul>							
[事業目的]													
「ふくいプロフェッショナル人材総合戦略拠点」による副業・兼業の人材紹介を強化しつつ、就業規則の改正など、県内企業の人材受入れ体制づくりを支援することで県内企業の高度人材不足に手を打つ。													
[事業内容]													
<ul style="list-style-type: none"> <li>① 製造、経理それぞれの経験者を含む複合チームで企業訪問し、真の課題を探究</li> <li>② 強化すべき業種を精査し、人材マッチングを支援                         <ul style="list-style-type: none"> <li>- 人材紹介事業者への正確な情報提供</li> <li>- 大企業人事部門との直接マッチングを企画</li> <li>- 副業・兼業受入れ体制の支援                                 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 副業・兼業人材に関する旅費を支援</li> <li>補助： 県外の副業・兼業プロ人材の移動に係る経費 (交通費・宿泊費)</li> <li>補助率： 1/2 (国1/4、県1/4)</li> <li>補助上限： 50万円/1社</li> <li>・ 県内企業の副業・兼業人材の受入れをサポート</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>③ 県内企業の技術を県内外大手企業等に売り込み</li> </ul>													
[受益者]						[想定される受益者数]							
前事業の有無・実績		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 (実績)				関連事業の有無・ 役割分担		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況						他県の状況		45道府県でプロフェッショナル人材戦略拠点事業を展開 (本県の成約件数は全国20位前後)					

## プロフェッショナル人材マッチング支援事業

区分	拡充	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	産業労働部	課名	産業技術課	課長名	大塚 智樹			
事業主体	福井県				事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他		事業開始年度	H27 年度 経過年数 8 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	直営、補助金													
補助率	-													
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等								
予算額	48,672	36,417			12,255	地方創生推進交付金、地域活性化雇用創造プロジェクト補助金								
[予算額の推移等]												(単位：千円)		
区 分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	令和4年度予算額の増減理由							
当初予算額の推移		33,114	41,798	46,756	46,755	48,672	副業・兼業制度の推進を図るため、人員を1名拡充							
2月現計予算額の推移		32,699	39,232	45,676	41,328									
決算額の推移		30,077	63,308	32,122										
前年度までの 主な増減理由														
[成果指標等の推移]														
区 分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠					
成果指標	成約件数 (人材マッチング件数)	(目標) (21)	(23)	(25)	(27)	(90)	(95)	(100)	ふくいプロ人材拠点における従来実績を踏まえ、年間5件ずつ増加を狙う					
		実績 66	60	72	73									
活動指標	相談件数 (県内企業面談件数)	(目標) (295)	(330)	(400)	(420)	(450)	(475)	(500)	ふくいプロ人材拠点における過去の成約実績と相談実績の比率を適用					
		実績 360	266	371	252									
[事業の評価]														
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和4年度の変更点				事業評価						
企業相談件数	H30 360件 (295件) R元 266件 (330件) R2 371件 (400件)	R3 252件 (420件)		副業・兼業制度の推進を図るため、人員を1名拡充				<input checked="" type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額			
マッチング件数	H30 66件 (21件) R元 60件 (23件) R2 72件 (25件)	R3 73件 (27件)						<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了				
※ ( ) は目標値								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他				

## 生産工程自動化支援事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	産業労働部	課名	産業技術課	課長名	大塚 智樹
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務	事業区分	<input type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業開始年度 R3 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年度) R5 年度	R5 年度
事業実施方法	補助金										
補助率	1/2										
福井県長期ビジョンにおける位置付け	分野 [ II 成長を創る (産業力) ]	政策 [ 6 地域経済のイノベーション ]			関連する県の計画等		[ 福井経済新戦略、ふくい創成・人口減少対策戦略 ]				
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]					
<p>・労働人口減少による人手不足やコロナ影響による省人化ニーズのため、生産工程の自動化が喫緊の課題であるが、設計・構想作成費用が高額であることが足枷となっている。</p>						<p>・生産年齢人口の見通し43万人(2020年)→33万人(2040年)(福井経済新戦略)            ・設計や構想費用：導入設備の約10%(総事業費2,000万円の場合200万円、最低でも100万円は必要)</p>					
[事業目的]											
労働人口の減少による人手不足対策やアフターコロナの労働環境の変化への対策のため、生産工程自動化の設計・構想費用を支援し、県内企業のロボット導入を加速する。											
[事業内容]											
生産性向上につながるロボットの選定、配置、システム設計等のロボットシステムの導入構想作成にかかる費用を支援 (3, 014千円)											
[補助率1/2、上限1,000千円×3件]											
[受益者] 県内ものづくり企業						[想定される受益者数] 2,032事業所(福井県工業統計調査、2020年)					
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 県内企業のDX推進事業(創業・経営課)(役割分担) ・本事業で作成、設計した導入構想を基に、「県内企業のDX推進事業」を活用することで県内企業へのロボット導入を図る				
市町との連携状況						他県の状況	【山形県】ロボット導入加速化支援事業 ・ロボット導入を検討する企業に対して、専門のアドバイザーが導入構想の作成を支援する 導入構想の作成費用：25万円/社				

## 生産工程自動化支援事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	産業労働部	課名	産業技術課	課長名	大塚 智樹		
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	<input type="checkbox"/> 実行予算	事業開始年度	R3 年度	事業終了予定年度 (見直し年度)	R5 年度	
事業実施方法	補助金							<input checked="" type="checkbox"/> 補助金		経過年数			
補助率	1/2							<input type="checkbox"/> その他		2 年			
区分	事業費		国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等					
予算額	3,014		1,507			1,507		地方創生推進交付金					
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位：千円)</span>													
区分			平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	令和4年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移						3,015	3,014	経費見直しによる減					
2月現計予算額の推移						2,563							
決算額の推移													
前年度までの主な増減理由													
[成果指標等の推移]													
区分			平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	ロボットまたは生産工程自動化設備の導入企業数	(目標) 実績				(0) 1	(1)	(1)	(2)	採択3件のうち、導入に至る企業を1社と想定			
活動指標	採択件数	(目標) 実績				(3) 3	(3)	(3)	(3)				
[事業の評価]													
前年度の実績・成果指標等の定量的評価					実績を踏まえた令和4年度の変更点				事業評価				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ R3年度4件の申請があり、3件を採択</li> <li>・ 合計5.3人の省人化に繋がる事業を採択</li> </ul>					<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ロボットまたは生産工程自動化設備の導入に到達できるよう、採択した企業および事業を終了した企業に対して、「県内企業のDX推進事業」、「ものづくり・商業・サービス生産工程工場促進補助金」を推奨していく</li> </ul>				<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
									<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	1	
									<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

## 繊維産業新規市場開拓支援事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	産業労働部	課名	産業技術課	課長名	大塚 智樹	
事業主体	(一社) 福井県繊維協会				事務 区 分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区 分	□ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R2 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度
事業実施方法	補助											
補助率	県1/2~3/4											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [ II 成長を創る(産業力) ] 政策 [ 6 地域経済のイノベーション ]				関連する県の計画等		[ 福井経済新戦略 ]					
[解決すべき問題・課題] コロナで落ち込んだ市場への対応、SDGsへの対応、将来のアパレル産業を支える人材への産地のPR						[問題・課題を表す客観的データ] アパレル小売金額ベース 2019年 9.2兆円 → 2020年 7.5兆円						
[事業目的] 繊維関連団体が実施する事業を支援し、市場の拡大と福井産地のブランド力向上を図る。												
[事業内容] 1 事業内容 (1) サステナブルへの取り組みを促進するコーディネーターの設置 (2) コロナで落ち込んだ国内外のアパレル市場や非衣料分野での販路拡大 (3) SDGsに対応したリサイクル体制の構築および環境認証取得 (4) 石川と共同で行う新素材開発や販路開拓 (5) ファッション系学校を対象とした県内産地のPR 2 実施主体 (一社) 福井県繊維協会 3 補助率・補助金額 補助率(1) 3/4、(2)~(5) 1/2 限度額 21,051千円												
[受益者] 県内繊維関連企業						[想定される受益者数] 6団体						
前事業の有無・実績		□ 無 ■ 有 事業名 (実績)				関連事業の有無・ 役割分担		■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)				
市町との連携状況		—				他県の状況		【石川県】新製品・新技術研究開発支援事業 機械、繊維等のものづくり企業による新製品等の開発・販路開拓支援 (基金運用/実施主体は外郭団体) ・補助率: 2/3、補助上限: 10,000千円、事業期間: 3年以内 【岡山県】岡山デニム世界進出支援事業 ・補助率: 1/2、補助上限: 500千円、その他: 2展示会/年間以内				

## 繊維産業新規市場開拓支援事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	産業労働部	課名	産業技術課	課長名	大塚 智樹	
事業主体	(一社) 福井県繊維協会				事務 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		<input type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業 開始 年度	R2 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度
事業実施方法	補助											
補助率	県1/2~3/4											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	21,051	10,525			10,526	地方創生推進交付金						
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位：千円)</span>												
区 分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	令和4年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移				24,313	23,051	21,051	・広域連携事業の見直しによる減 ・学生の産地研修事業の想定見直しによる減					
2月現計予算額の推移				15,820	18,915							
決算額の推移				15,318								
前年度までの 主な増減理由	R3：繊維関連団体が実施するコーディネーターの設置事業の見直しによる減、学生の産地研修事業の3密対策による増額											
[成果指標等の推移]												
区 分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	販売額 (目標)			(70,000)	(70,000)	(70,000)	(140,000)	(210,000)	非衣料分野への進出5,000千円 + 海外への販路開拓45,000千円 + 産地内連携20,000千円			
	実績			60,049	52,276							
活動指標	支援件数 (目標)			(6)	(6)	(6)	(12)	(18)	非衣料分野への進出2件 + 海外への販路開拓2件 + 産地内連携2件 = 計6件を想定			
	実績			4	4							
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和4年度の変更点				事業評価				
・コーディネーターによる産地企業を連携した商品開発と販路開拓 (販売額：50,772千円) ・国内展示会(ジャパンクリエーション)への出展等を支援 (販売額：1,504千円) ・学生の産地研修事業は1件実施				・広域連携事業の見直し(産地連携から新市場開拓へ) ・学生の産地研修事業(関東圏想定から関西圏想定へ)				<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	2,000	
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		